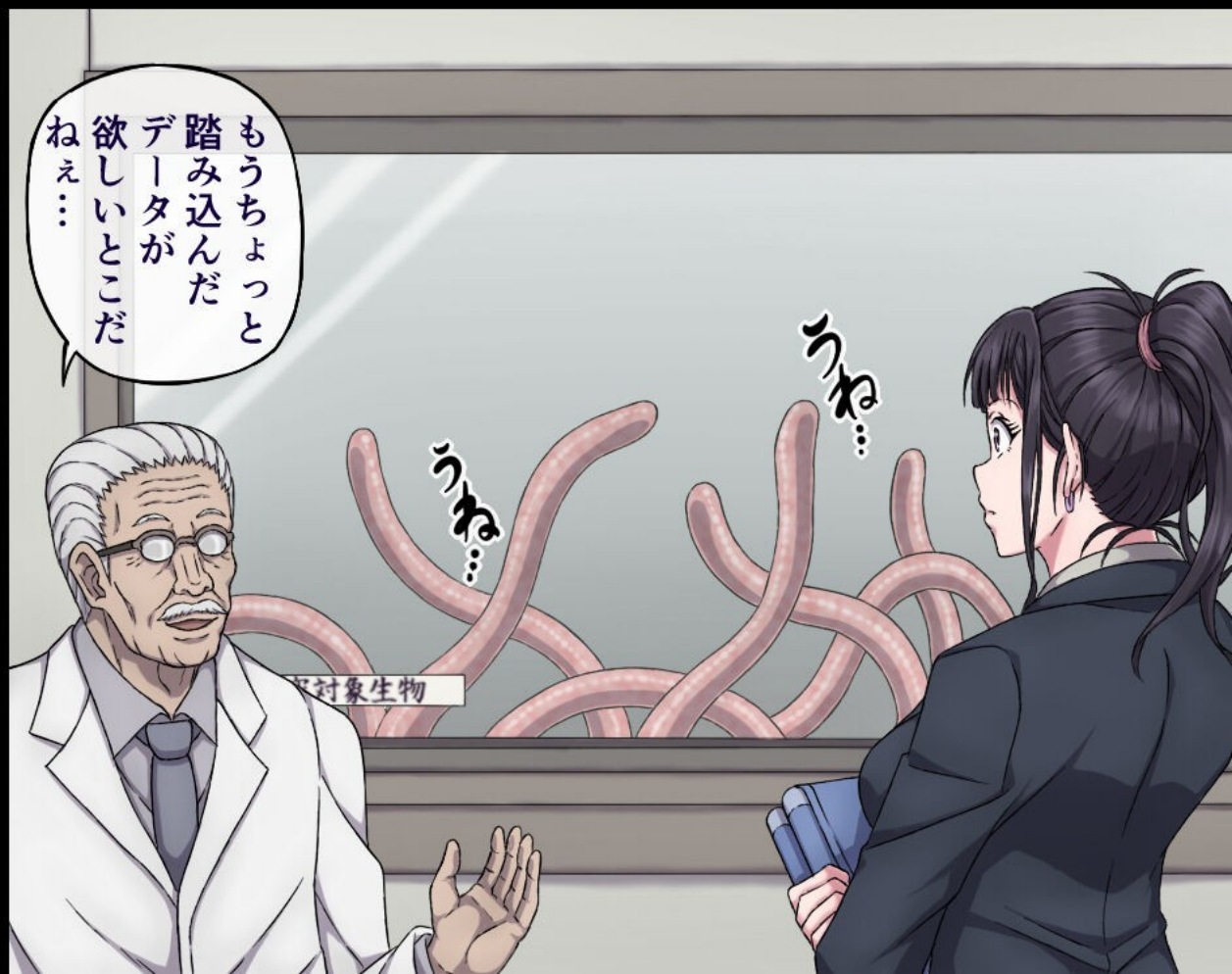
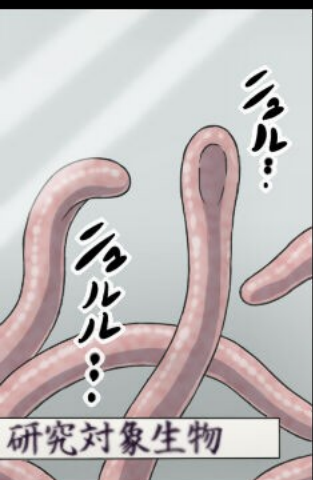






ほんと
何なんですかね
この生き物は

私の名前は姉崎ユナ
とある製薬会社に研究職として
就職した新入社員だ

うーむ…
宇宙から飛来した
生命体か
秘密裏に開発されていた
人工生命体か
謎が多すぎて正体が
都市伝説の域を出ないねえ

しかし今は出所は
どうだっていいんだ
ワシはこの生物から
生成される成分が興味
深くて堪らない！

この人は色沼先生

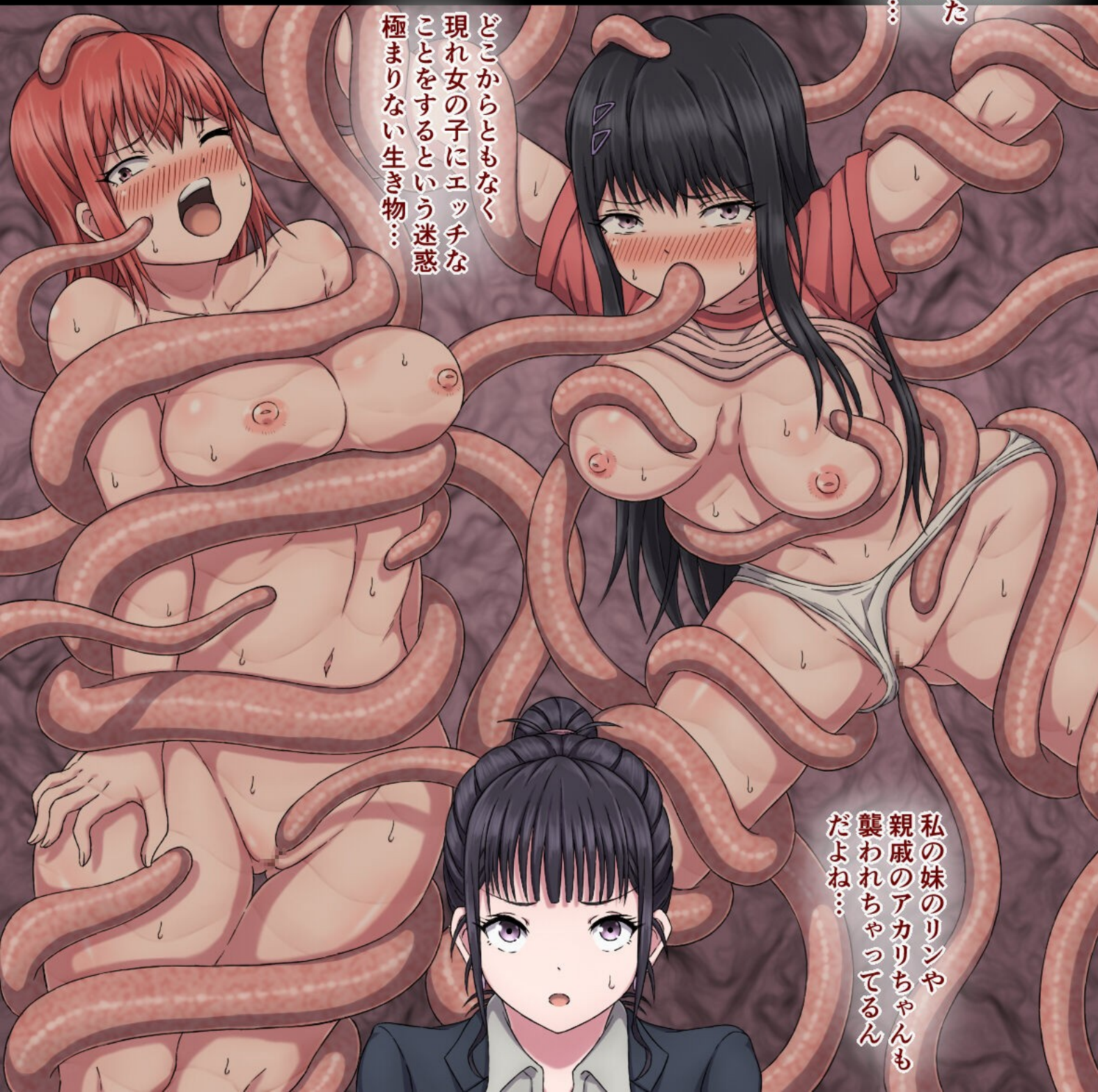
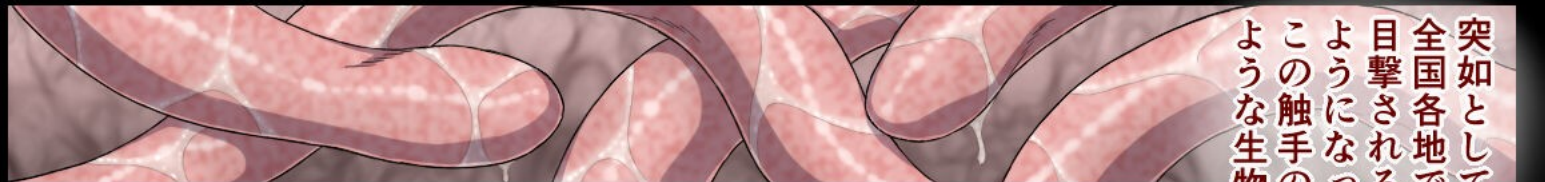
ほらほら
たくさん分泌
されているよ
見たまえよ
ユナくん！

やだー
気持ち悪い
ですよー

1444

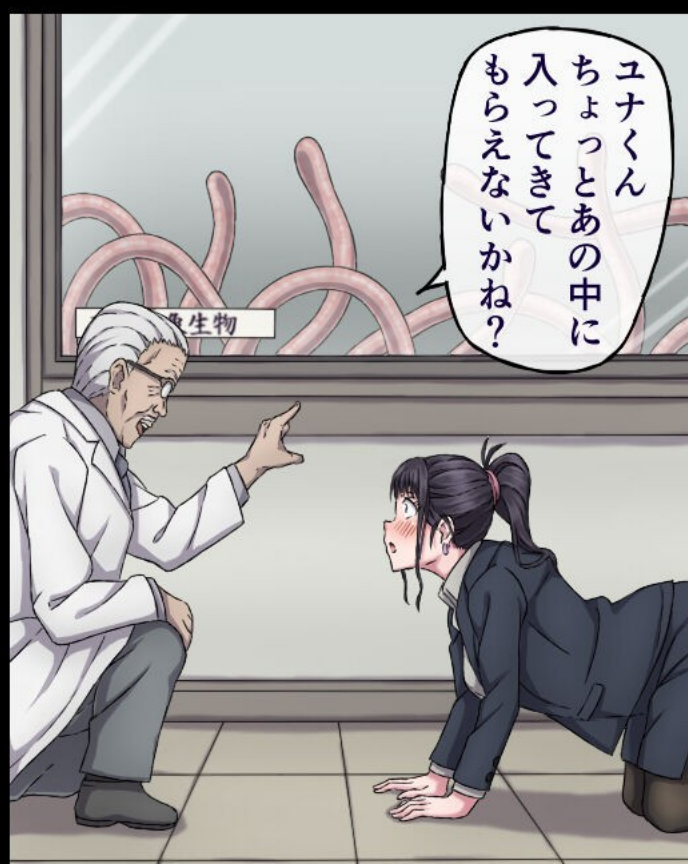
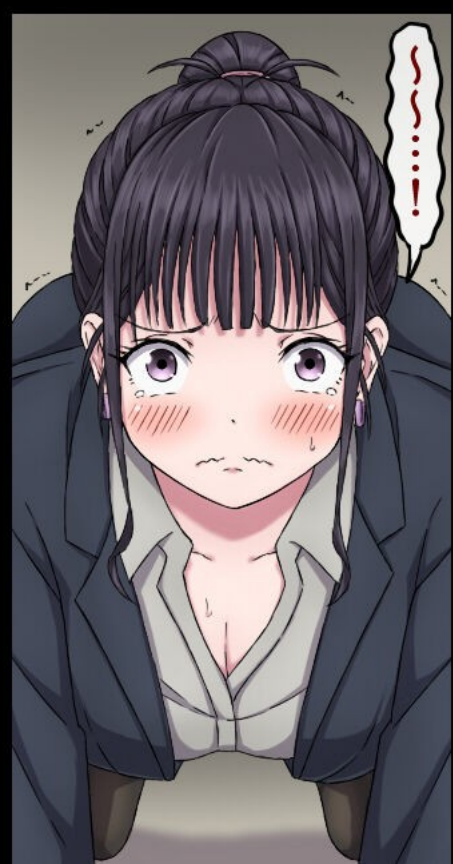
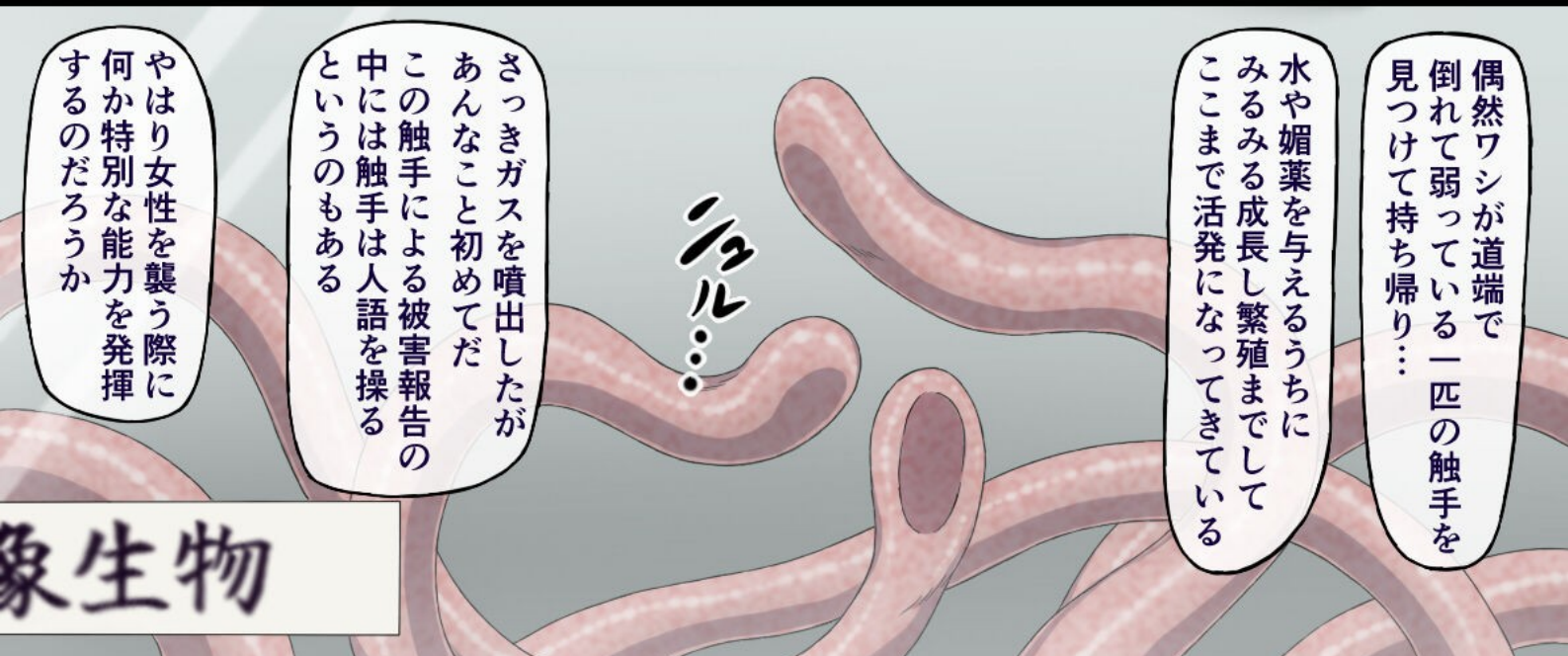


ぜ…善処しますね…













そのまま
私は自慰行為に
没頭してしまい…

んんッ！

ふんふん…

ふッ！

ダメ…
手が…
止まんない…

1時間…2時間…
もう時間なんて
忘れるくらい私は
自分の体をまさぐり
続けていた…

あッ…

はッ…！





何でこんなに
感じるの…



体が…
おかしい…



異常な快楽に戸惑いつつも
私は自分の手で何度も何度も
イキまくっていた…

翌日

ああ
おはようユナくん…

おはようございます…

いえ…

はあ…
昨日めっちゃオナニーしちゃった…

まだ体が熱い…なんなのこれ…

そういえば…

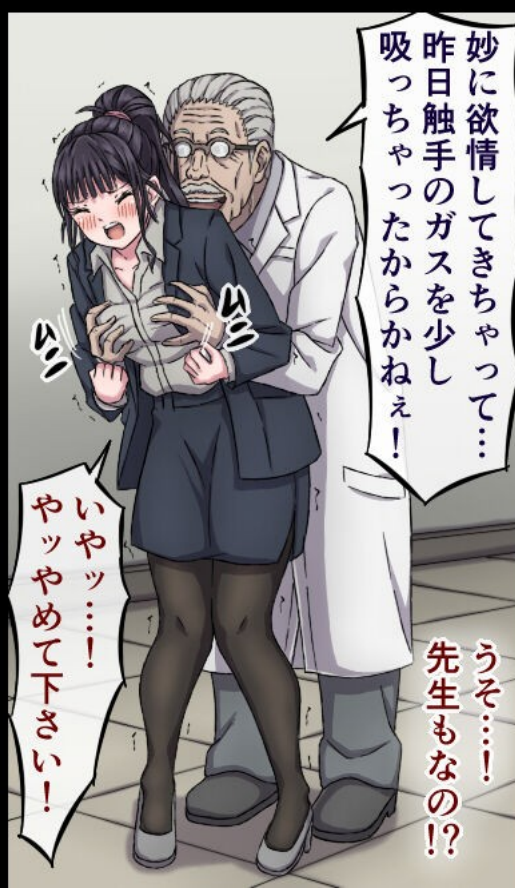
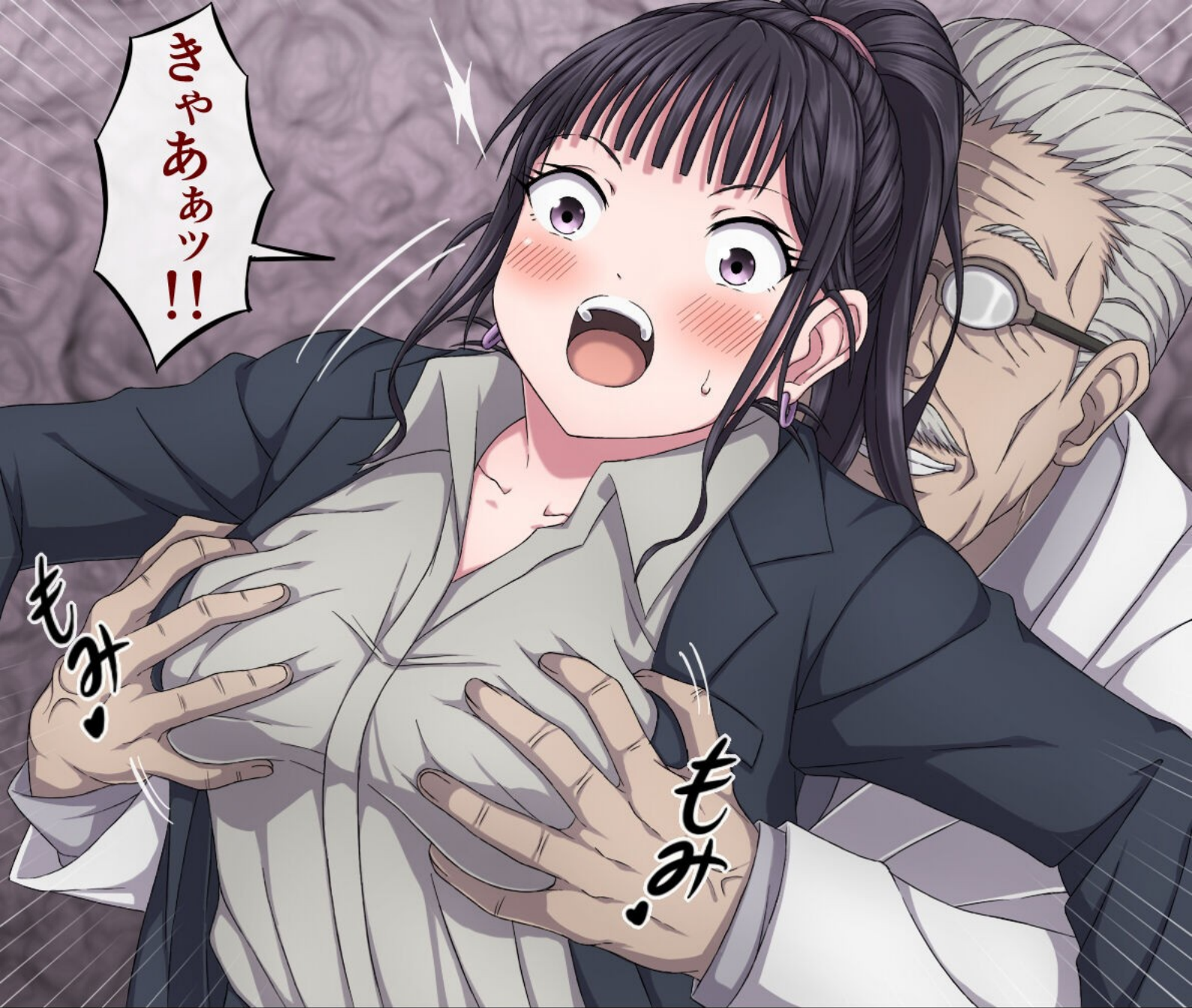
まだ資料まとめて
ませんでしたね

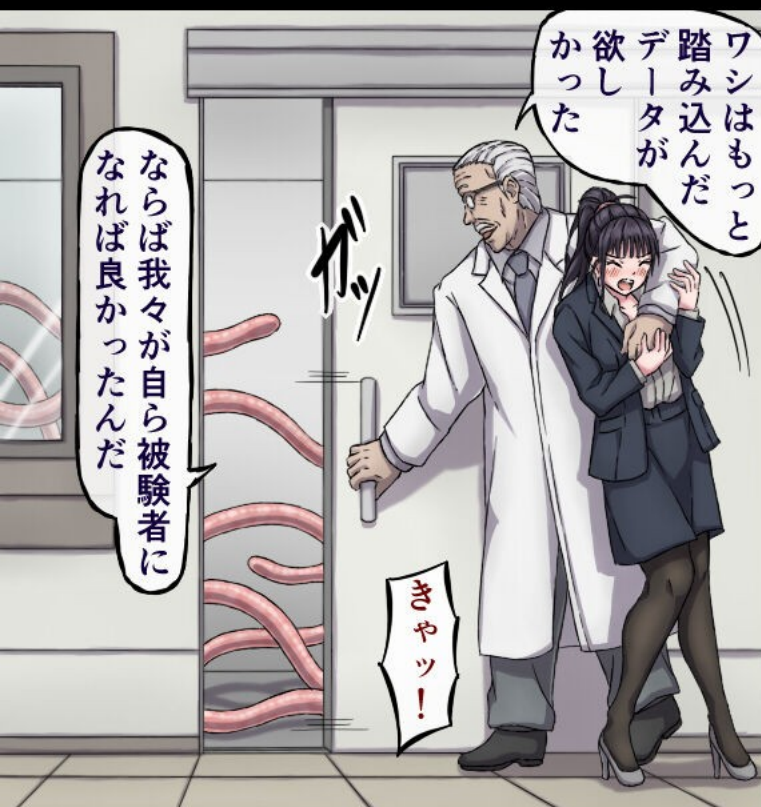
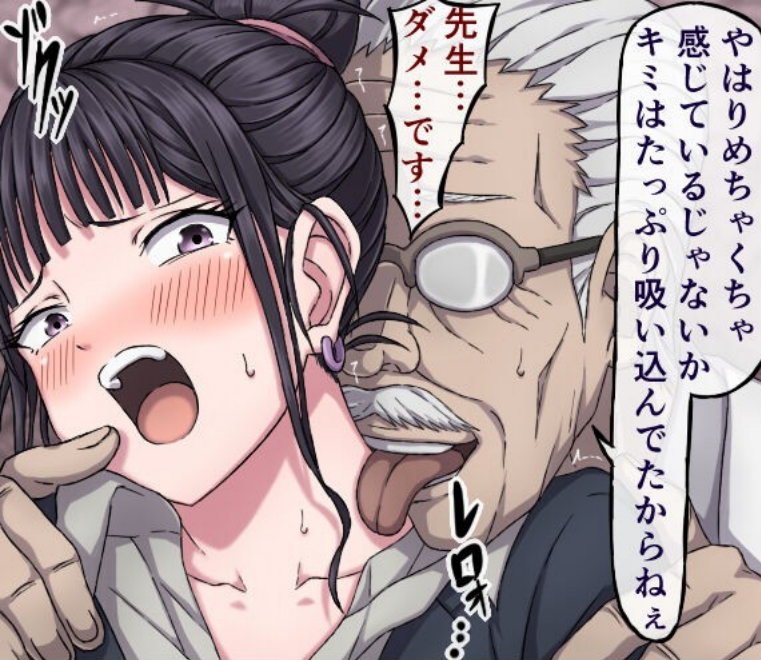
今やり
ますね

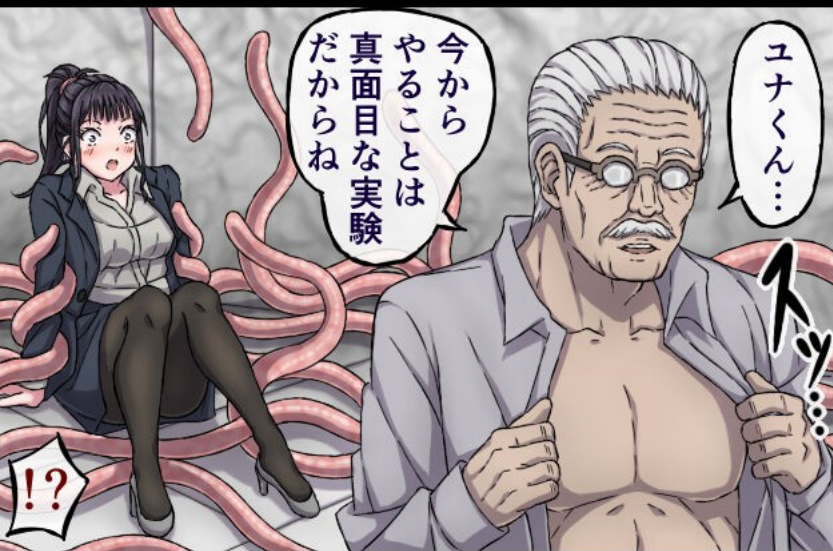
ダメ…体中が疼く…触りたい…
こんなの仕事に集中できないよ…

もみゅ…

!









ふふふ...

えっ...
始めるって何を...!!

「アッ...」

ひッ!

...ッ!

ワッル...

おお!
なんて豊満なおっぱいだ...!!

め...
目を覚まして下さい先生...
こんなの絶対
おかしいです!

いやア!

さあ
ユナくんも
服を脱ごうか

...ッ!

ガッ





この現象を闇に葬る
のではなく我々はもっと
検証すべきなのだよ



えッ!



ああッ!

ほらほらキモチイイだろお
訴えたらこんなにも異常に快楽を
感じているデータを残せないじゃないか

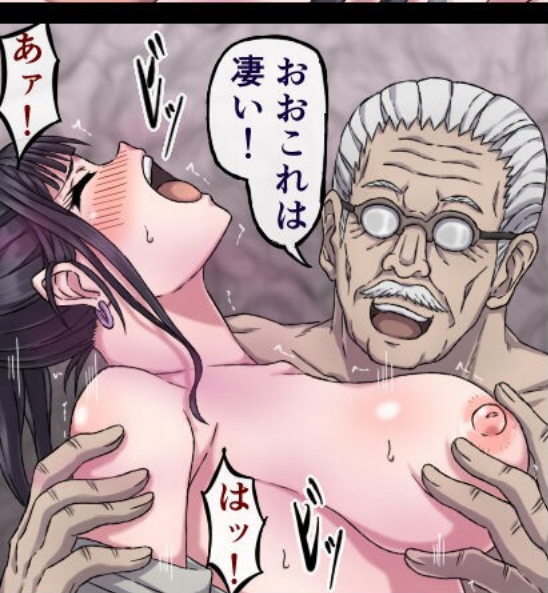
もみもみ

はあッ!

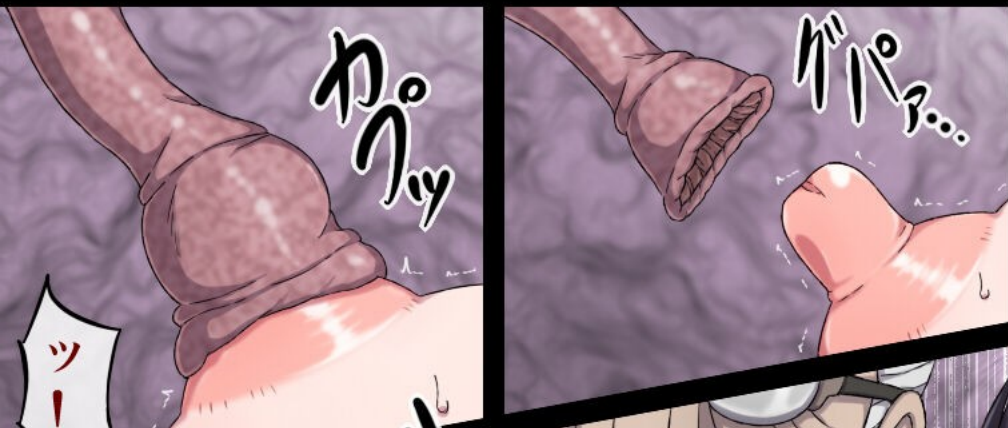
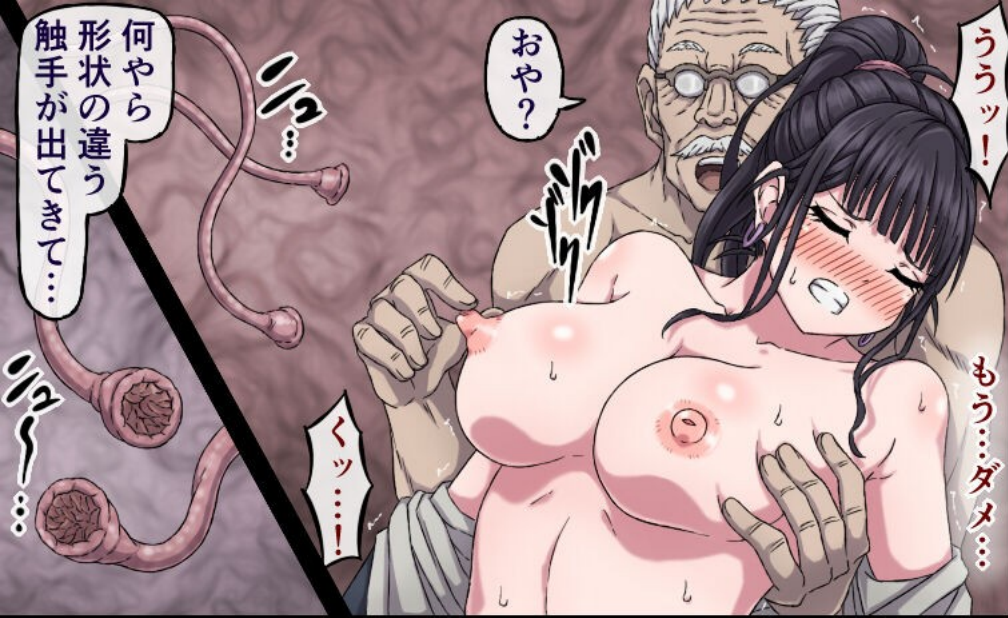


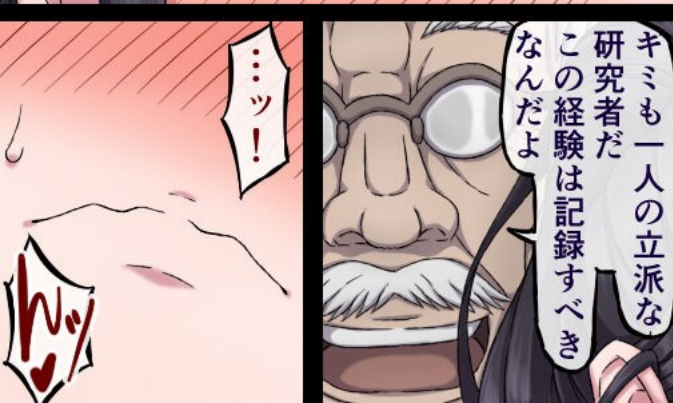
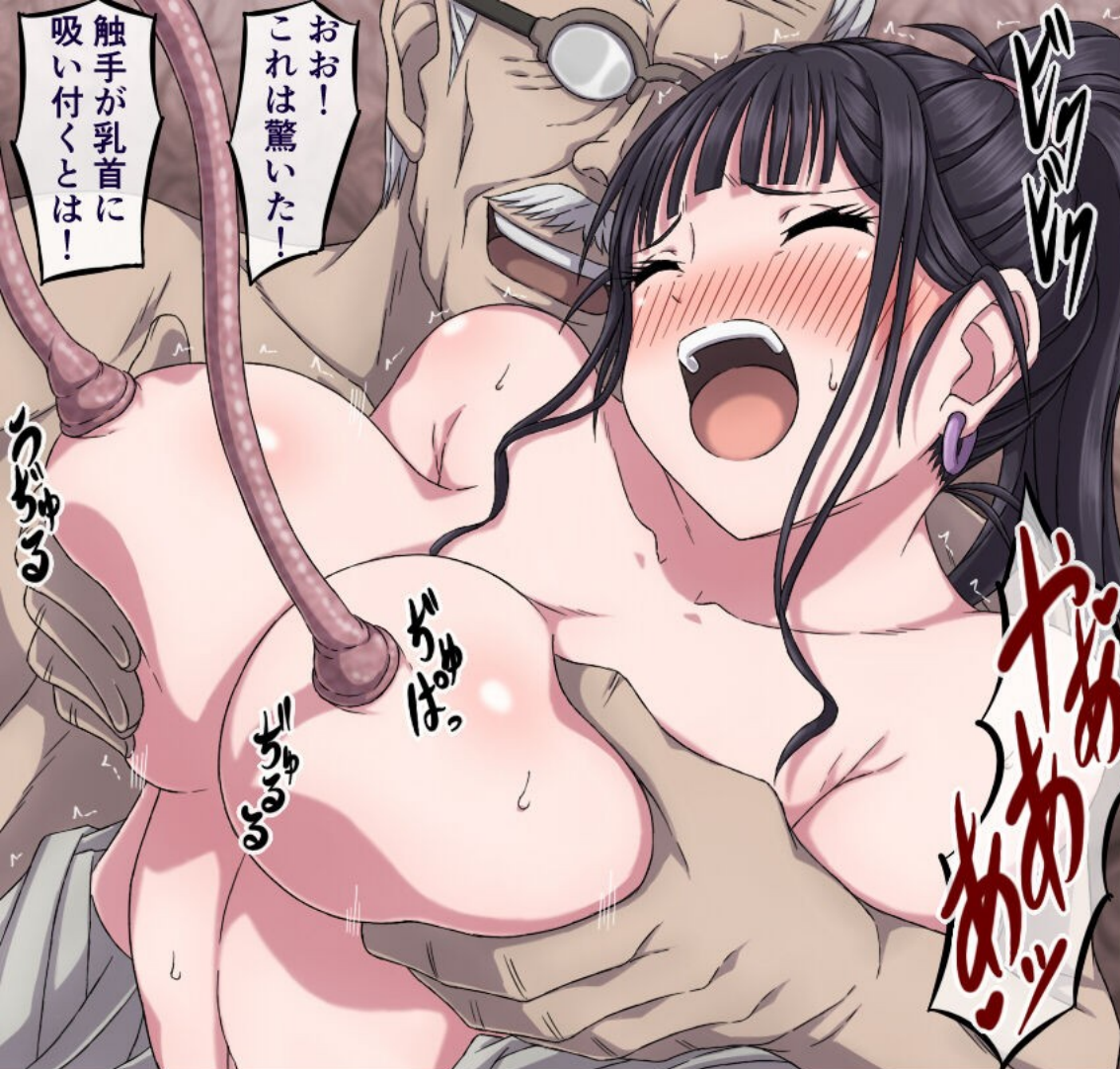
やあッ!

かっ













触手の
乳首責め
そんなに
キモチ
よかった？

イツちやったねえ
ユナくん...

うッ...
はあ...!

ハア...!!

ハア...!!



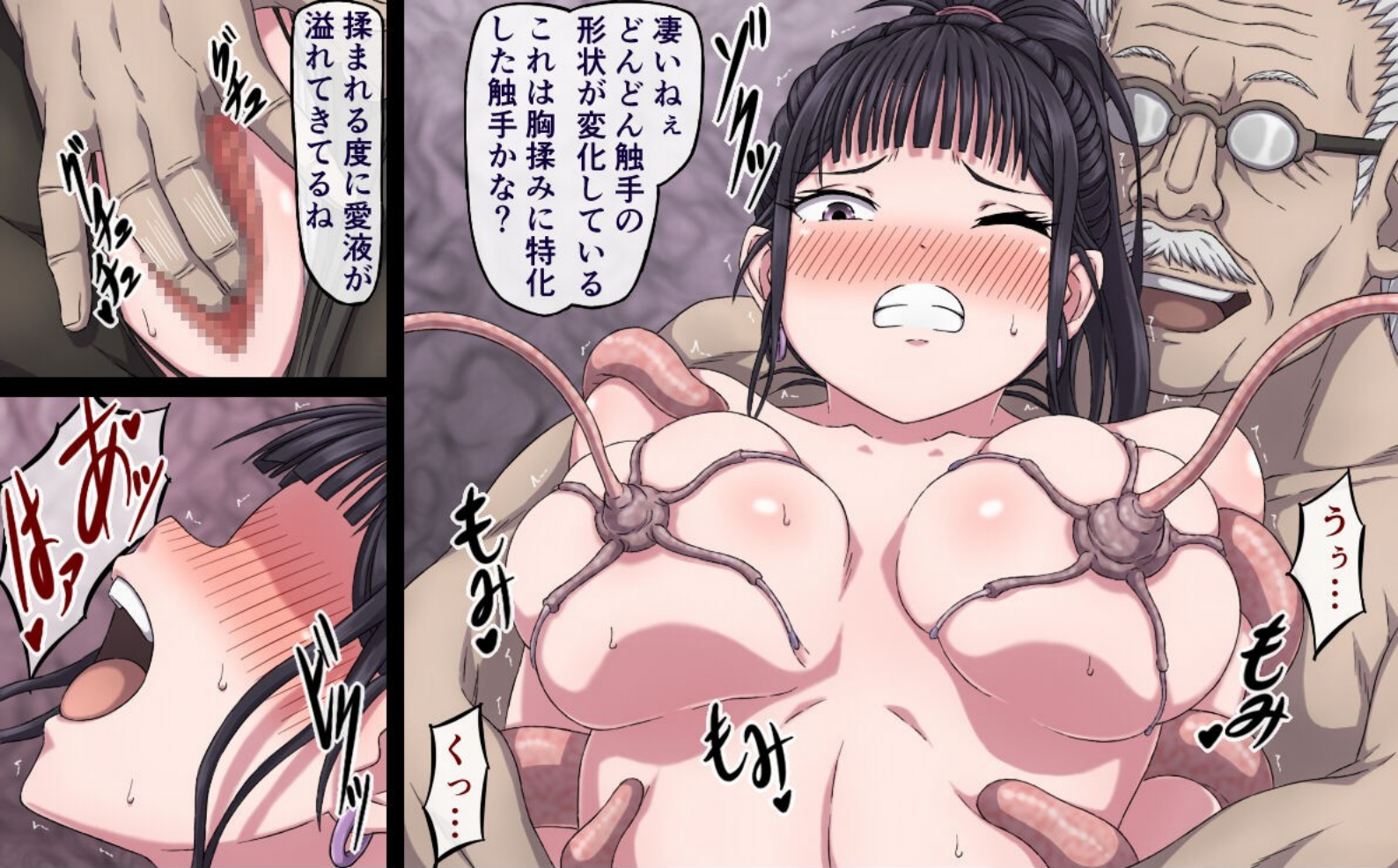
一度イカされて
しまった私はもう
好き放題に先生と
触手にエッチな
ことをされ始め...

ああッ!

ふふふ

はああ!

うあッ!





ぱん
ぐん
ぐん

ははは
凄いのけぞり様
だねえ！

さつきも乳首でイキ果て
てたしオナニーでよく
乳首弄ってるの？

はいイ……！

もう恥ずかしさと
キモチ良さで頭も
体もとろけ切って
しまった……

やっぱりそうなんだあ
乳首弄られながら
ま○こ責められのは
スキ？

ん……
スキ……ですッ……

いやあ
めっ

ん……
めっ

ほらほら
乳首は先生が
コリコリして
あげるからね

ふふふ
次はおま〇こ責めの
触手だよお？

くらっくらっくらっ

触手の変化と快楽に
染まっていく私の体を
先生は研究としても
愉しみ続け：
私はただただ快楽を
流し込まれる実験体
となっていた：

とんど

ぎゅぎゅぎゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

あやあやあやあや











素晴らしい

今ユナさんの
性的感度は最大限
まで引き上げられ
ているね

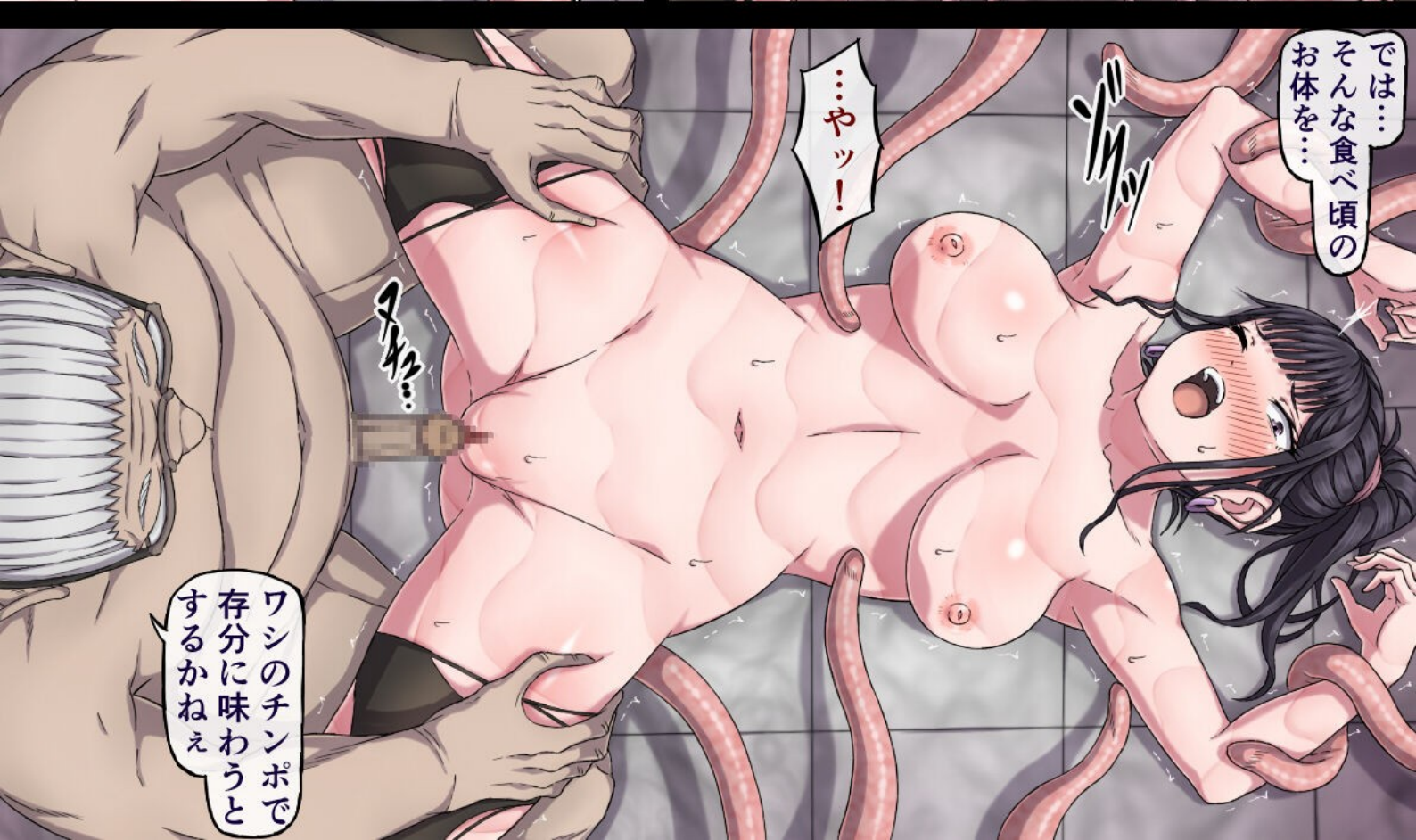


ハアッ!

ハアッ!



うははは!
これは凄い!
こんな激しい絶頂は
初めて見るよ!



...やッ!

では:
そんな食べ頃の
お体を...

ワシのチンポで
存分に味わうと
するかねえ







うははは
イイ顔してるねえ
先生のチンポそんなに
キモチイイかい？

ああ！
チンポ突くのが
止まらないよ！
ワシももうイッて
しまいそうだし！

おお！
ユナくんのおま○こも凄く
キモチイイよ！

おおッ！
おおッ！

ぐわんぐわん

はぁ

ぐわんぐわん



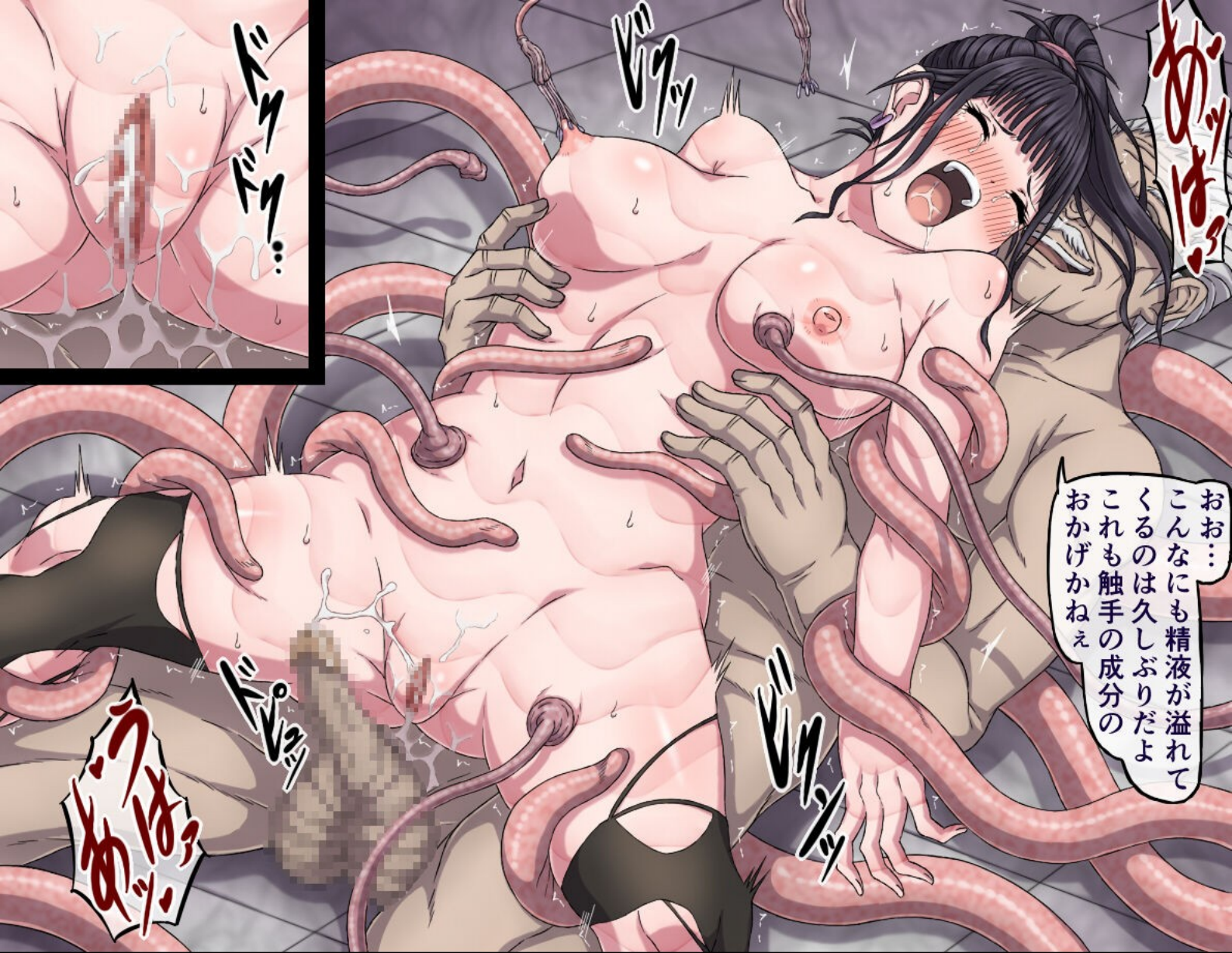
ふふふ 立ちバックは好きかい
ユナくん

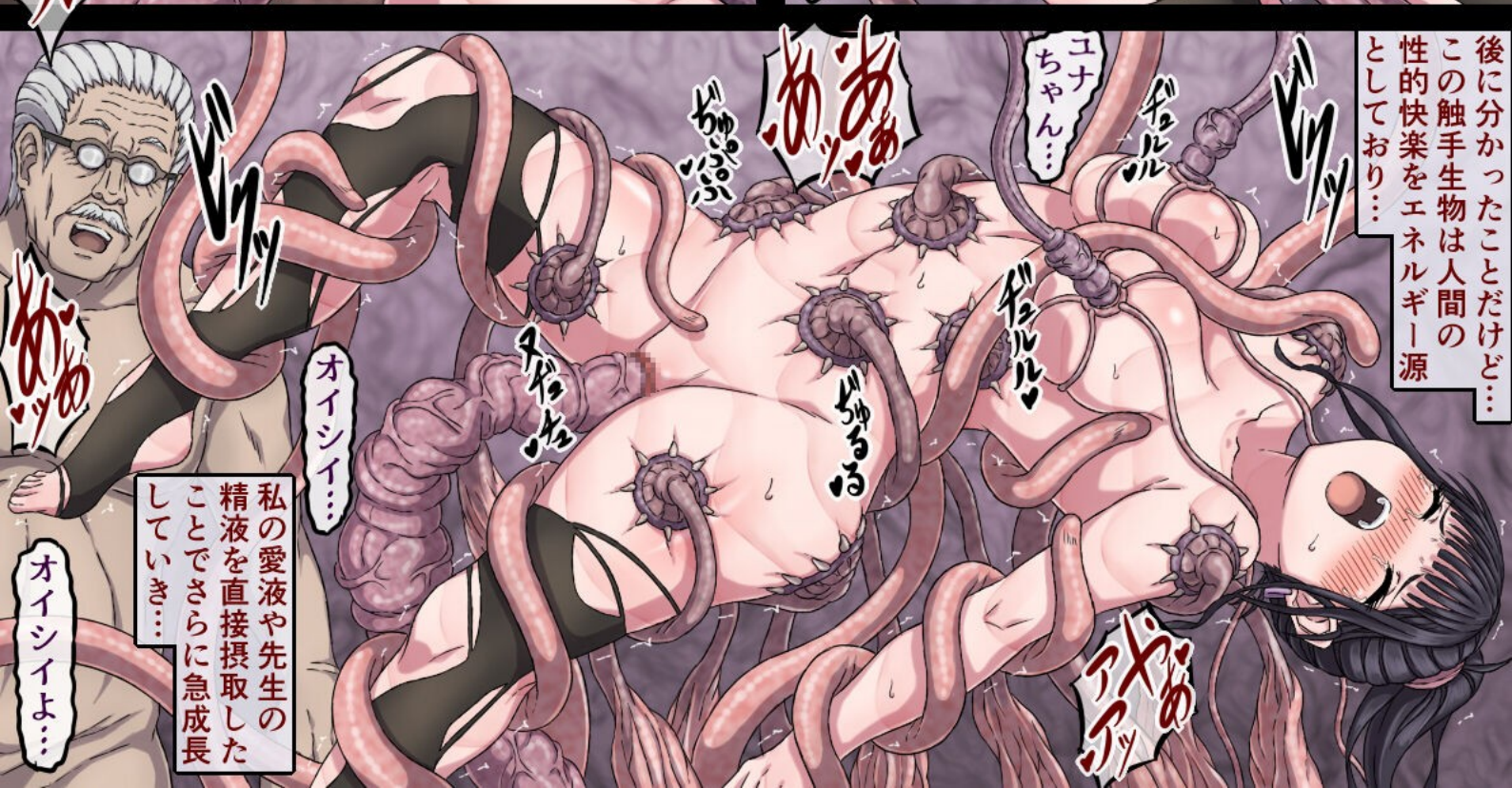
[illegible]

それから何度も何度も
チンポで突かれて…
「先生と助手」そんな
関係性は一切そこにはなく
狂ったように快楽に溺れる
「オスとメス」に成り果てていた…









後に分かったことだけど...
この触手生物は人間の
性的快楽をエネルギー源
としており...

私の愛液や先生の
精液を直接摂取した
ことでさらに急成長
していき...

オイシイよ...



オイシイ…

オイシイ…

そのまま触手に全身を
しゃぶられその様子を
先生にじっくり観察され…

ん…

ちゅる…

ちゅる…

ちゅる…

ちゅる…

ちゅる…

ちゅる…

ちゅる…

オイシイなあ…

ん…

そしてこの日を境に
この触手についての
研究が大幅に進み…

後日触手の体液を
主成分とした媚薬や
興奮剤の開発に成功

ちゅる…

ちゅる…

ちゅる…

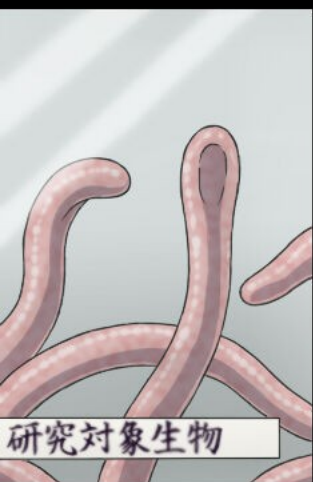
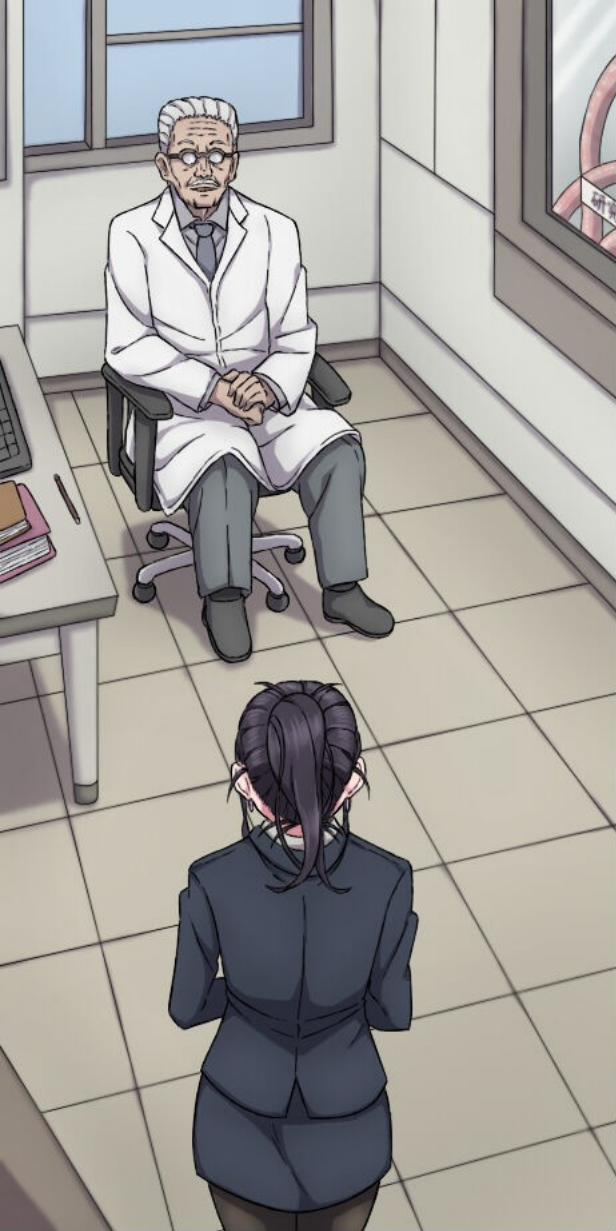
ちゅる…

ん…

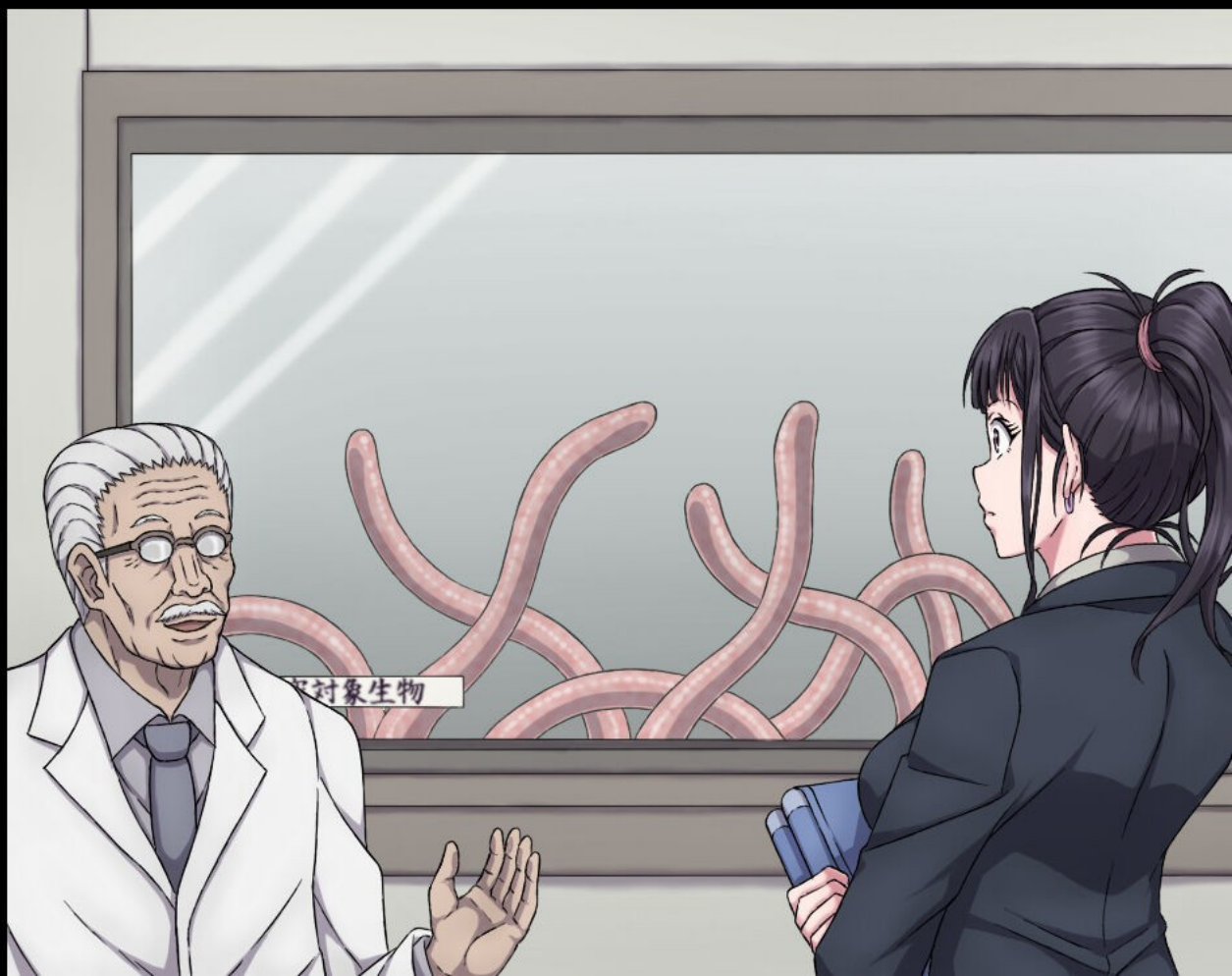
あり得ない程の
恥ずかしさと
快楽に吞まれ私は
気絶してしまった

大ヒット商品となり
私達は大きな功績を
挙げることになった
のであった…





研究対象生物



研究対象生物

